



## 新型コロナウイルス 感染抑止

PCR検査  
少し前進  
さらに拡充を

市民の願いと  
共産党の申し入れが実現しました！

## 冬に向け万全の対策を

医療福祉施設でPCR検査を  
医療現場を救うこと  
雇用崩壊を防ぐこと

市内の医療機関で  
「PCR・抗原検査」  
可能に

一宮市医師会は、9月1日から医師の診断があれば唾液による「PCR検査」を始めました。また、検査結果がその場で判明する「抗原検査」を行うことも可能となりました。

介護保険施設の  
入所予定者に  
「PCR検査」実施

一宮市では、11月2日から定員30人以上の介護保険施設へ入る予定の人が、「PCR検査」を希望すれば自己負担1000円で、一宮市民病院にてドライブスルー方式により実施となりました。



一宮市議会議員  
ひこさか和子

2020年9月  
議会質問から

## 新型コロナ感染拡大抑止に 一宮市は積極的な対応を！

### 一宮市に検体採取後の PCR検査センター設置を

**質問** 今後冬にかけて感染拡大が心配されるなか、PCR検査センターを設置するよう、県に働きかけてほしい。判定までの時間が短縮され、すぐ対応できる。

**答弁** 県は検査体制の拡充を行っており、今後も協力体制で臨む考え。県からの問い合わせ等には速やかに対応していく。

### 高齢者インフルエンザ予防 接種の一部負担金引き下げを

**質問** 今年度1,500円となったインフルエンザ予防接種の一部負担金を、元の1,200円に戻すよう質問。よい答弁なし。

9月11日愛知県が、「今年度限り65才以上の高齢者等の予防接種は無料」を発表。60～64才で持病のある人、身体障害者手帳1級の人も対象。市の予防接種の期間は10月～1月末まで。

### コロナ時代 すべての学年で少人数学級を

**質問** 全ての学年で少人数学級を取り入れていくよう、市の考えを質問。30人以下学級の実現に向けて今後も関係機関に働きかけてほしい。

**答弁** 35人等の少人数学級は、国や県が実施するもの。県が負担して配置する少人数学級の拡大について、引き続き県教育委員会に訴えていく。



日本共産党  
一宮市民運動部長  
わたなべさとし

## 《 感染拡大防止へ 》

「積極的な検査」と「感染情報の開示」を  
一宮市と懇談 日本共産党一宮市委員会と一宮女性後援会

日本共産党一宮市委員会は8月に、「PCR検査体制を抜本的に拡充し、医療、福祉、教育など、集団感染リスクの高い施設関係者の定期的検査を行うこと。軽症者・無症状者の隔離施設を確保すること」など「感染拡大抑止の緊急申し入れ⑥項目」を一宮市へ提出しました。一宮市の回答は「市内の感染症対策は一宮保健所（愛知県所管）が行っている。検査機関の分析件数に限りがあるため、感染を疑われた方のみ検査を行っている。隔離施設は愛知県により適切に確保されている。」でした。



一宮市との懇談

10/8これをふまえて、ひこさか和子市議会議員と渡辺さとし一宮市民運動部長が同席し、一宮市委員会と一宮女性後援会は、一宮市と懇談しました。「詳しい感染情報の開示を県に求めてほしい」に対し、「県から詳しい情報は届いていない」との返答。来年、中核市に移行し、独自の保健所を管理することになる一宮市です。医師会や医療機関との連携をさらに進め、しっかりとした感染症対策を要望しました。



#子どもたちに  
少人数学級を  
プレゼントしよう

### 早く少人数学級の実現を！

少人数学級を  
求める全国署名  
18万を  
こえました

少人数学級で  
子どもたちの  
学びの保障と  
感染防止を！



オンライン署名こちらから  
Change.orgキャンペーン



